

第10期第1回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和6年（2024年）12月4日（水）午後5時30分～7時30分
会 場 豊中市役所第二庁舎 5階第一会議室
委 員 委員：橋爪（会長）、天羽、大本、河原、古後、後藤、森本
欠席：上田、山下
事務局 都市活力部：上原部長
魅力文化創造課：林課長、山森主幹、石橋係長、井口係長、渡邊主事、吉川
傍聴者 0名

〔開会〕

事務局○委員の任期更新（令和6年9月1日から令和8年8月31日まで）

○委員、事務局の紹介

○本日は第10期になって初めての会議であり、会長の選任が必要である。

豊中市文化芸術振興審議会規則により、会長決定までの間、市長が議長を行うことになっている。本日は、部長の上原が代理で務める。

1. 会長の選任について

議 長○どなたか立候補、あるいは推薦はないか。

委 員○橋爪委員に引き続きお願いできないか。

議 長○ご推薦のあった橋爪委員に会長をお願いすることについて、異議はないか。
（異議なし）

議 長○では、橋爪委員に会長をお願いすることとする。議長を交代する。

2. 職務代理者の指名について

事務局○職務代理者の選任については、豊中市文化芸術振興審議会規則により、会長が定めることになっている。

会 長○委員の期間が長い山下委員にお願いする。

3. 第10期審議会の役割及びスケジュールについて

事務局○（資料1に基づき説明）

豊中市文化芸術振興審議会規則第6条第2項により、部会は会長が指名する委員で組織すると規定されている。したがって、会長より審査部会に所属する委員及び部会長の指名をお願いする。

会 長○審査部会に所属していただく委員は、山下委員、上田委員、古後委員を指名する。
また、部会長には山下委員を指名する。

4. 第9期第4回審議会の振り返りについて

事務局○（資料2に基づき説明）

会 長○ただ今の説明について、質問・意見はないか。

(質問・意見なし)

5. 豊中市における文化芸術事業実施状況について

事務局○(資料3-1、3-2に基づき説明)

会 長○今の説明について、何か質問はあるか。

委 員○豊中市で文化政策に対して予算がいくらあてられているのか、それは市の予算全体の何パーセントにあたるのか。来年度に向けて予算要求で今までの予算より増えたのか、横ばいなのか。

事務局○市の予算については全体で約1,800億円(令和6年度一般会計)、文化政策の予算総額については確認させていただく。(後ほど、事務局より令和5年度の決算額は約6億4,940万円、全体の約0.35%を占めることになることと説明。)なお、次年度の予算要求においては、センチュリー交響楽団と実施した服部緑地での野外コンサート(星空ファミリーコンサート)において、入場者数が最高記録を更新したことから、今後も継続して実施していくこと、好評をいただいている親子で気軽に音楽を味わえる0さいからのコンサートを令和5年度は4回、令和6年度は6回実施し、令和7年度は8回実施できるように調整していること、また、そのほか新規事業を検討していることなどから、今年度よりも若干上積みして行っている。

会 長○担当の部局の予算と関連する事業が可視化されるリストがあればよい。

委 員○そのリストがあれば、こういった文化政策に力をいれているかわかりやすいのではないか。

事務局○リストの作成を検討させていただく。

委 員○南部地域活性化の取り組みというところでどうして南部地域なのか。

事務局○南部地域は、特に少子化・高齢化が進んでいる地域となっている。そのため、市として南部地域の活性化に取り組んでおり、小中一貫校として庄内さくら学園をスタートするなどした。さらにもう一校、南部地域の小学校と中学校を一緒にして、同様の小中一貫校の整備が予定されている。文化芸術の側面においても南部地域活性化の取り組みを展開していこうと、豊中市文化芸術推進基本計画の重点プロジェクトとして取り組んでいる。

会 長○豊中市総合計画のリーディングプロジェクトにおいて、南部地域活性化を進めるとしており、その一環として、豊中市各部局の施策の中で、文化芸術振興も事業を展開している。

6. 文化芸術振興助成金の交付要綱および募集案内の文言修正について

事務局○(資料4-1、4-2①、4-2②に基づき説明)

会 長○今の説明について、質問・意見はあるか。

委 員○2019年度から実施していると伺ったが、応募総数はどれくらいか。

事務局○例年10~20件あたりを前後する傾向にある。先ほどの説明のとおり、令和5年度の応募件数は13件だった。なお、令和6年度は22件の応募があった。

委 員○本助成金はクラウドファンディング枠があるが、個人と企業のどちらからも寄付

を受け付けているか。

事務局○本助成金は、個人の寄付のみ受け付けている。ただし、本助成金とは別の事業において、企業版ふるさと納税として北おおさか信用金庫様よりいただいた寄付金を、日本センチュリー交響楽団と市内高校や小学校が合同で実施した「音楽のまちで奏でる謝恩祭」の事業費として活用させていただいた。

7. その他

事務局○次回の審議会は7月頃に開催したいと考えている。後日、日程調整する。

○会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させていただく。会議録は市のホームページで公開する。

○配布資料の中にある豊中市立文化芸術センターの刊行物「アペリティフ」について、送付希望の方はいるか。

(送付希望の委員数名挙手)

[閉会]

(以上)